

第45回奈良県ミニラグビーカーニバル実施要項（雨天順延用）

1. 期 日 2025年11月30日（日） 9時30分開会式
2. 会 場 親里競技場
3. 主 催 奈良県ラグビーフットボール協会
4. 参加チーム 奈良県協会加盟スクール

チーム名	女子タグ	幼児	1年	2年	3年	4年	5年	6年	ママタグ	合計	備考
生駒	1		1	2	2	1	1	1	0.5	9.5	ママ：とりみ合同
とりみ	0.5	2	1	2	1	1	1	1	0.5	10	女子タグ：やまのべ合同、ママ：生駒合同
桜井				1		1		1	1	4	
郡山				1		0.5		1		2.5	4年：前裁合同、6年：オープン参加
やまのべ	2.5	1	1	2	1	1	1	1	1	11.5	女子タグ：とりみ合同
橿原			1	1	1	1	1		1	6	
広陵	1	1	1	1	1	1	1			8	
前裁				1		0.5		1		2.5	4年：郡山合同
合計	5	4	5	11	6	7	5	7	4	54	

5. 参加資格 奈良県ラグビー協会に加盟するチームに所属し、個人登録を完了した者。

6. 準備 グラウンド設営：普及育成委員：当日8:30集合

7. タイムテーブル・レフリー・グラウンド割り

【タイムテーブル・レフリー割】 7分-1分-7分 5年/6年：10分-2分-10分

本部		No.	9:30	開 会 式															
学年				幼児・1年		2年		女子・ママ		3年		4年		学年		5年		6年	
グラウンド				イ		ロ		ト		ハ		ヘ		グラウンド		ニ		ホ	
普及育成委員各スクール一名	①	10:00	幼児 広陵-とりみA やまのべ		とりみB-橿原 やまのべA		女子 やまのべA-広陵 生駒		とりみ-やまのべ 生駒A		広陵-橿原 やまのべ		①	10:00	生駒-とりみ 中島弘行（橿原）		広陵-やまのべ 渡部幸士（生駒）		
	②	10:20	幼児 とりみB-やまのべ 広陵		やまのべB-郡山 生駒B		女子 やま/とりみ-生駒 広陵		広陵-生駒B やまのべ		とりみ-前裁・郡山 生駒		②	10:30	広陵-橿原 岩石洋一（生駒）		桜井-前裁 藤田忠史（広陵）		
	③	10:40	1年 とりみ-橿原 生駒		生駒B-桜井 とりみA		ママ 桜井-やまのべ とりみ		生駒A-橿原 とりみ		広陵-やまのべ 橿原								
	④	11:00	1年 生駒-広陵 やまのべ		前裁-生駒A やまのべB		ママ とりみ・生駒-橿原 桜井		①勝-②勝 橿原		桜井-生駒 とりみ		③	11:00	①勝-やまのべ 松井孝裕（生駒）		広陵-郡山 吉田友幸（生駒）		
	⑤	11:20	1年 ③勝-やまのべ とりみ		とりみA-広陵 橿原		女子 ①負-②負 やまのべ		①負-②負 広陵		橿原-やまのべ 広陵		④	11:30	①負-②負 井元大介（橿原）		とりみ-生駒 梶岡俊兵（桜井）		
	⑥	11:40	1年 ③負-④負 橿原		③勝-やまのべA とりみB		ママ ③負-④負 やまのべ		3年 決勝 ①負		②勝-④勝 前裁								
	⑦	12:00	1年 決勝 広陵		①勝-②勝 生駒A		女子 ①勝-やまのべB とりみ		2年:①負-②負 桜井		②負-④負 桜井		⑤	12:00	5年 下記参照 やまのべ-④勝 大西直己(協会)		やまのべ-郡山 栗光洋平（桜井）		
	⑧	12:20	幼児 ①負-②負 とりみB		⑤勝-⑥勝 前裁		ママ 決勝 橿原		2年:③負-⑤負 郡山		4年 決勝 郡山		⑥	12:30	6年:②負-④負 嶋村諒（やまのべ）		②勝-④勝 青山勇太郎 （やまのべ）		
	⑨	12:40	幼児 決勝 とりみA		⑦勝-④勝 広陵		女子 決勝 とりみ		3負-⑤勝 生駒B										
	⑩	13:00	1年 下記参照 やまのべ-⑥勝 ④負		2年 下記参照 ④負-下記参照 ②負		女子 下記参照 やまのべ-⑤勝 ①負						⑦	13:00	5年 決勝 平良広次（橿原）				
	⑪	13:20			2年 決勝 ①負								⑧	13:30	6年 決勝 協会（大西）				
		14:00	閉 会 式																

*5年・6年決勝の試合：ニ・ホのグラウンドを合わせ広くする。

*終了の合図は、ホーンにより行う。

*5・6年は本部よりレフリーに合図する

*高学年レフリー：各スクールのMRR資格取得者を配置

*郡山のhelp 6年③：やまのべ、⑤：広陵

*敗者戦の取扱い

イ-⑩ 1年：⑤の試合でやまのべが負けた場合のみ実施

ロ-⑩ 2年：⑥の試合でやまのべAが負けた場合：④負と試合

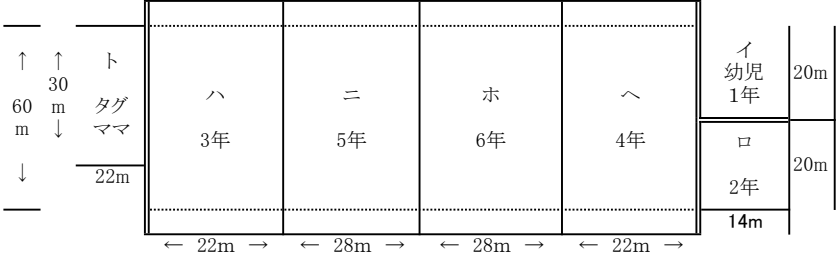
⑥の試合でやまのべAが勝った場合：④負とハ⑨勝と試合

ト-⑩ 女子：⑦の試合でやまのべが負けた場合のみ実施

ニ-⑤ 5年：③の試合でやまのべが負けた場合のみ実施

【学年別グラウンド割】二重線：安全の為、サイドラインは共用せず、1mの幅を設ける。

尚、このスペースには、タッチジャッジ以外は立入禁止。



<大会本部>

8. 競技規則及び競技方法

- ① 2023年度(財)日本ラグビー協会制定の競技規則を標準とし、幼児・1年・2年は、日本ラグビー協会通達通り、試合はタグラグビーとする
・組み合わせの都合上、1日の総試合時間数が高学年:60分、中学年:50分以内の規定を超える場合、協会承認の上実施するものとする
- ② タグラグビーの試合人数
幼児～2年生・女子・ママタグ : 5人制
- ③ 低学年のタグラグビーについては、奈良県ローカルルールを制定し、変更点は以下の通りとする(別紙参照)
・タグベルト・タグおよびビブスは各チームで準備。タグにはチーム名を記載しておくこと
・ヘッドキャップ着用
・オーバーステップ:反則とせず、タグの位置からリスタート
・相手のインゴールに両足が入った時点でトライとする
- ④ 試合は各学年ごとの対戦とする。
但し、当事者が日本協会ミニラグビー競技規則の学年を(低・中・高学年)超えない場合上級学年に出場の場合は許可する。
また、低・中・高の枠を超えて出場する場合も特別に許可するが、協会で承認を得るとともに、安全面については各スクールで責任をもって対応すること。
上記の条件でチームが組めない救済措置として、上級学年が下級学年に出場する場合は下記のことを全て満たすことを条件に認める
また、事前に出場選手の背番号と氏名を本部に届け出るものとし重複出場は認めない。
・単独・混合でチームが組むことができない場合
・日本協会ミニラグビー競技規則の学年を(低・中・高学年)超えない場合
・下級学年への試合出場人数は、同時出場(中学年2名以内、低学年:1名)とする(対象者:ビブス着用 ビブスは各スクールで準備)
・チーム内で人数が揃わない場合は、他チームから補充し試合を行うことができる。補充者は一日の試合時間の範囲として重複出場を認める。
ただし、この場合の試合の扱いはオープン参加とし勝ち上がれないものとする
- ⑤ 当日人数が揃わなかった場合の取り扱い
A: 当初出場予定チーム(学年)から低・中・高学年学年内での出場変更を行なう
上記カテゴリーを超えて出場の際は、普及育成委員会で承認をした場合認める
B: 上記の出場変更ができない場合
-1.全員上位学年での出場
-2.人数不足のまま出場(オープン参加として勝ち上がれない)
-3.他チームから出場者を一時借りる(オープン参加として勝ち上がれない)
-4.学年を超え重複出場の選手がいる場合(オープン参加として勝ち上がれない)
*B-2の場合で、2名以上人数が不足での出場は、安全面から認めない
- ⑥ 試合の開始、ハーフタイム、終了は放送で行う。
- ⑦ トスは試合整列時にグラウンド内で行う。
- ⑧ 競技を円滑に運営するため、レフリー・指導者・選手は、試合グラウンド近くで待機すること。
- ⑨ 試合時間は低・中学年:7分-1分-7分、高学年:10分-2分-10分
- ⑩ 引き分けの場合は、本部にてじゃんけん後くじ引きにて次回戦へ出場を決定する。
リーグ戦の場合、引き分けとし、勝敗が同じ場合は得失点差⇒トライ数が多いチームを上位とする
- ⑪ 給水は、サイドの交代をすませてグラウンド内で行う。
- ⑫ 得点は、レフリー及びタッチジャッジが記録し、ハーフタイム及び試合終了時に得点の確認を行い試合終了後本部に報告する
- ⑬ スポーツゴーグルは原則WR推奨品とするが、出場選手名簿に記載し、当日、本部にて使用決定する

9. 表彰

各学年、優勝・準優勝チームに賞状を贈呈。

10. 運営概要

開会式について

9:20 役員、選手整列

- 9:25 開会宣言
挨拶
競技上の注意
選手宣誓
役員、選手退場
- 9:40 代表者・レフリー会議 (学年別ルール確認)
- 10:00 競技開始

整列体形	
<本部>	大和郡山
	橿原
	とりみ
	生駒
	桜井
	やまのべ
	広陵
	前栽

閉会式について

- 14:40 役員、選手整列(開会式の隊形)
成績発表
表彰 賞状授与
講評及び閉会の挨拶
閉会宣言
- 奈良県協会普及育成委員長
奈良県協会理事長
奈良県協会理事長
放送による

11. 注意事項

- ① 大会参加者は当日の朝に必ず体温測定し、微熱がある場合は参加を自粛すること。
- ② 参加者の健康管理には十分留意し、防寒対策及び雨対策を各チームで周知させること。
- ③ 弁当がら、空き缶、その他ゴミ等は各チームの責任で持ち帰ること。
- ④ 全体の準備体操は行いません。各スクールで行ってください。
- ⑤ 天候の状況で開催の判断が困難な場合は、「中止の場合」のみ前栽RS井上より普及育成委員グループLINEで連絡する
- ⑥ 親里競技場使用時の注意点
 - ・親里競技場内の駐車場は使用禁止。競技場前の駐車場を使用してください。
 - ・尚、各スクールの駐車台数を決めております。台数以内で乗り合わせてご参加ください。
 - ・選手及び指導者の入場は、9:00といたします。早く来てグラウンド入口前のロータリーに集合しないでください。
 - ・グラウンド内はスパイク着用のこと
 - ・グラウンド内の給水は芝生保護の為、水のみといたします。(スポーツドリンク・茶等は不可)
 - ・スタンドは各スクール別に待機場所を設定しています。持ち物は所定の場所にまとめておいてください。
 - ・観戦は、スタンドからとグラウンドには入らないでください。(バックスタンドは使用不可)
 - ・グラウンド内入場は、各学年チーム3名(レフリー含む)、写真1名とし、ADカードを配付いたします。
 - ・ADカードは入場時各スクールにお渡しします。試合終了後はスクールでまとめて本部に返却してください。

<駐車台数>

スクール名	台数
生駒	72
とりみ	71
桜井	21
郡山	12
やまのべ	67
橿原	39
広陵	66
前栽	12
合計	360

1. レフリーについて

- (1) レフリー1名 タッチジャッジ2名、(各チームから1名ずつ選出)
- (2) レフリーの服装
レフリー ジャージ・短パン・ストッキングを着用
タッチジャッジ ジャージ・短パン・ストッキング、ウインドブレーカー
- (3) タッチジャッジはタッチライン沿いで以下のことを行う。
 - ① レフリーの判定の補佐。
 - ② 選手の入替えの補佐。
 - ③ 負傷者のための試合停止の要請。
 - ④ 指導者・観客の暴言および悪質な妨害行為のレフリーへの報告。
 - ⑤ 得点を記録し、レフリーと確認。
 - ⑥ 自チームへの指示・指導は行わないこと。
- (4) レフリーはその試合における唯一の事実の判定者であり、レフリーに対して抗議することは認められない。
- (5) レフリー(タッチジャッジ)並びに競技役員は、プレーヤー・指導者・観客の暴言および試合進行に対しての悪質な妨害であると判断した場合、注意するとともに試合終了後本部へ連絡する。
- (6) レフリーが上記の行為について注意をしても是正されない場合は、退場を命じることができる。
- (7) 試合中に(4)の行為が起きた場合、試合を中断し注意を行い、試合の再開は、当事者チームの相手側のフリーキックとする。
- (8) 得点は、レフリー及びタッチジャッジが記録し、ハーフタイム及び試合終了時に得点の確認を行い試合終了後本部に報告する
- (9) 指導者・レフリーは、U12ミニラグビー競技規則及び帰製通達を事前確認のこと。

2. 指導者について

- 指導者は試合の進行に協力するとともに以下のことを行う
- ① 負傷者の救助等で競技グラウンド内に入ることができる。
 - ② 主催者が指定する位置で、チームプレーヤーへの教育的かつ建設的助言を行うこと。
 - ③ グラウンドサイドの主催者が指定する位置でプレーヤーの入替えに関する管理を行うこと。
 - ④ ハーフタイムに競技グラウンド内に入り、プレーヤーに指示を与えること。
 - ⑤ グラウンドサイドの主催者が指定する位置でプレーヤーの健康、安全管理を行うこと。
 - ⑥ 指導者は、選手および自チーム応援者の言動について一切の責任を負う。
 - ⑦ 指導者は、レフリーの判定に従い、レフリー・プレーヤーに対し暴言を吐かない。

3. 観戦者の皆様へ

- ① 自分のお子さんや、自分のチームの声援はもちろんですが、相手チームの良いプレーについても称賛してあげてください。
- ② プレーヤーやレフリーへの暴言は厳に慎んでください。また、相手の失敗を嘲笑したり、自分のチームの失敗を罵ったりすることはあってはなりません。もし、そのような方がいらしたら、周りの皆さんが注意をしてあげてください。

レフリー及び保護者の皆様は、上記事項を厳守し、子供たちのプレーを見守ってください。

尚、協会からの注意に対し、従わない場合はグラウンドから退場していただきます。

低学年タグ奈良県ローカルルール

項目	日本協会ルール	奈良県ルール
1. 試合開始	・フリーパス ・2m以内でパスを受けて開始	-
2. パス	・デフェンスオフサイドライン5m ・スローフォワード ・ノックオン	-
3. タグ	・左右どちらかのタグをとる ・タグを取ったら大きな声で「タグ」コールし、 取ったタグを頭上に上げる ・タグを取られたプレーヤーは止まり、 出来るだけ早くパスをしなければならぬ ・デフェンスのオフサイドライン: タグを取られたプレーヤーの位置 ・4回のタグで攻守交替	-
4. オーバーステップ	・タグを取られたプレーヤーがすぐに止まることができます、 3歩を超えて止まった場合	オーバーステップは採用せずもとに戻して再開
5. オフサイド	・デフェンス側が、ボールより前の位置に立ち、 ゲームに参加したりパスの邪魔をする ・タグの回数をリセットして再開	-
6. タッチ	・ボール保持者がタッチラインを踏んだ時点でタッチとし、 相手のフリーパスで再開 ・デフェンスオフサイドライン5m	-
7. トライ	・相手のインゴールの中に走り込んでボールを置く	ゴールラインを超えた時点でトライ(飛び込み禁止)
8. 反則	・タグを取りに来た手を払う ・タグを取られないように回転する ・体当たりをする ・相手をつかまえる ・両手を広げて守る ・反対側のタグをとる ・キックをする ・ルーズボールに飛び込んでとる ・インゴールに飛び込む	-
9. グラウンド	・横14m、縦20m+インゴール2m	グラウンドの範囲で調整
10. その他		安全の為、ヘッドキャップ着用